

# 武蔵野市議会議員 島崎義司

## 武蔵野かわら版

☆島崎義司の市政レポート

平成18年 1月号

発行:武蔵野かわら版編集局/〒180-0022 武蔵野市境1-3-4-403/TEL&FAX 54-8180/E-mail yoshiji@parkcity.ne.jp

◎島崎義司のブログ『活動日誌』 <http://blog.livedoor.jp/yoshiji3/>



### ☆新春にあたり皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 武蔵野かわら版 目次

☆ ごあいさつ	Page 1
☆ 新市長の施政方針に代表質問 公募型「市民参加」は万能か?	Page 1~2
☆ 武蔵野プレイス(仮称) 「オープンハウス」は縮小の道具か?	Page 2
☆ 島崎義司のブログ『活動日誌』開設! ホームページも好評更新中!	Page 2
☆ 市政報告会のお知らせ	Page 2
☆ プロフィール	Page 2

平成18年がスタートしました。皆様益々ご清栄のことと存じます。

昨年は、都議選・衆院選、そして、22年間市政を担ってきた土屋市長の衆院転身という“想定外”の事態により、武蔵野市においては市長選も執行されるという、未曾有の選挙の年となりました。

このうち、衆院選は、小泉総理の出馬要請に応え自民党公認を受けた土屋正忠氏が、民主党元代表の菅直人氏を相手に善戦、小選挙区では敗れたものの比例復活当選を果たしましたが、都議につづき市長も革新陣営に明け渡すという厳しい結果にも終わりました。

本市では、全国的にも高水準にある市政をこれからも維持すべく、一昨年「長期計画」を策定、健全財政に取組みつつ、多様な市民ニーズに対応する施策展開を図り、鉄道の高架化事業や農水省跡地への「武蔵野プレイス(仮称)」建設計画などのまちづくりも、まさに佳境に差し掛かっていたところですが、先の市長選で民主党のほか共産党や自治労などの支援を受けた邑上新市長は、就任後初の12月議会の施政方針で、その長期計画や公共事業の見直し(即ち市民サービスの縮減)を表明し、市政全般に大きな影を落とそうとしています。

来年の統一地方選を控え、武蔵野市では議員定数削減も予想される中、今年、本市でこれまで築いてきた良質な「まちづくり」や、それを支える「責任保守政治」が守れるかどうかの正念場の年ともいえます。

私も、市議会の立場から、革新主導の無責任な市政展開や、放漫な財政運営、地域活力の縮減などには毅然として立ち向かい、真の市民益を追い求めていく覚悟です。皆様の一層のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

武蔵野市議会議員 島崎義司

### ☆新市長の施政方針に『代表質問』

邑上新市長の就任に伴って、昨年の第四回定例会初日(12/2)に行なわれた「施政方針」に対し、私は、所属会派 自由民主クラブを代表して「代表質問」(12/6)に立ちました。

当日は、代表質問の最後の登壇者であったため、質問項目の重複が予測されたので、私は自分や会派の考え方および理念を示しつつ、大局的な観点から、市長の政治姿勢や思想、政策に対する基本姿勢などを質しました。

以下、紙面の都合で、ここでは「議会だより」との重複を避けた質問及び答弁の要約をご報告致します。

#### ◎ 公募型「市民参加」は万能か?

**島崎** これまでの本市の市民参加は武蔵野方式と呼ばれ全国モデルともなっている。公募委員は否定しないが声の大きい方に議論が流されるとの懸念も指摘されているがどうか。

**市長** これまでの方式では、長期計画の策定

委員会は市長が指名した委員で構成されていた。今後は公募委員枠を拡大することで多様な市民の意見を集めたい。大きな声の意見誘導には会議運営の工夫で対応できると考える。

#### ◎ 「市民との協働」検証なしの交際費カットは無責任!

**島崎** 武蔵野市政は豊かな市民の力によって支えられている。「市長・市役所交際費支出基準」第1条では、「市政の推進に必要な外部(即ち役所以外)との交際」とある。これを全く検証もせず、根拠のない支出枠のみを示すことは、行政の責任者としてはあまりにも無責任。交際費100万円以下の算出根拠を問う。

**市長** 100万円支出枠は厳密に積み上げたものではない。「現在のせいぜい5分の1ぐらいかな」、「多摩地域の市長交際費平均値を下回ってもいいのかな」ということでイメージして出したものだ。



### ◎「少人数制学級」本市での必要性に疑問！



島崎 市内小・中学校は、科目による少人数指導やTT等の効果もあり、全国や都の学力調査で上位に位置している。少人数制学級(30人学級)は、15人と16人の学級ができる場合もあり、学習集団の適正規模、人間関係構築、良い意味での競争意識を阻害する可能性も指摘され、また、本市独自で行なう場合、教員約55人・人件費約6億円の新たな財政負担が発生し、費用対効果の面でも疑問。施政方針で述べた「学力向上面で有効」との根拠は何か。

**市長** 単位として30人程度のクラスが望ましいという思いがある。今後、教育委員会に検討してもらいたいと考えている。今までの武蔵野市の少人数教育等の取り組みと学力の現状評価については、今後、整理していきたい。

### ◎「長期計画」調整前倒し 計画行政はどうなる!?

島崎 長期計画は地域の総合的・計画的行政運営を図るため地方自治法で策定が自治体に義務付けられている「基本構想」と一体。1年前倒しするほど緊急を要する公約(政策)とは何

か。また市長は、その策定方式はこれまでの「有識者委員会」方式をとらず、公募委員中心の「分野別個別市民委員会」方式を取るとしているが、弁護士や大学教授など、仕事に融通性があり、行政に関する高度で広範な知識を有し、市政との利害関係を持たない有識者委員でさえ、市政の膨大なデータを分析し、現場の実態を調査し、各界各層にわたるヒアリング等を行なって計画をつくり上げるのに大変な苦勞をされている。公募委員中心の委員会で、市全体の政策を総合的に理解し、施策との利害関係を排して公平公正な立場で参加し、様々な職種が参加すべき公募市民が夫々の仕事を犠牲にして十分な時間をとり、調査・研究・議論のうえで長期計画の策定が可能か、委員会の安定性や公平・公正性にも疑問がある。

**市長** 例えば現在の(長計の)記述には中学校給食がないので位置づけを見直したい。基本構想の枠組みは維持する。今後、市民参加で市政運営していくことは新たな挑戦かもしれないが、市民にも責任を持って参加してもらおうというスタンスで臨みたい。



## ☆武蔵野プレイス(仮称)『オープンハウス』は縮小の道具か?

### ◎経緯無視 見直し箇所不明の「縮小論」 市長の独断と偏見で市民サービス空間削減か!?

武蔵境駅南口への新公共施設建設計画は、平成10年の旧農水省跡地取得以降、市議会での議論、「アイデアコンペ」の開催、市民参加型『基本計画策定委員会』での14回にわたる議論や市議会農水特別委との懇談会、市民ヒアリング、全国的にも注目された公募型設計者選考「プロポーザル」の実施、選定された川原田さんなど市民委員を含む「建設基本計画策定委員会」での『機能』や『規模』『管理運営方法』などの検討、『中間のまとめ』への市民意見の受け、17年3月に出された『最終報告書』とその市民説明会など、幾重もの市民参加を経て、「武蔵野プレイス(仮称)」として、このたびの「基本設計」に至ったものです。



そのような中、「市民参加」を標榜し当選した邑上新市長は、その標語とは裏腹に、それまでの議論や経緯をないがしろにするかのように、たった2日間、しかも年末年始の忙しい時期を見計らうように「オープンハウス」(12/25市民会館・1/8境南コミセン)を開き、ここでのごく一部の意見やメールなどをもとに、施設の規模や機能を見直してしまおうとしているのです。

これまでの「市民の声」や「議会での議論」はどうなってしまうのか。ごく一部の市民の声を背景に、市長の独断と偏見で市民サービス施設(空間)をいともあっさり削ってしまうことを許すのか。市民、特に境地域の皆さんのサイレントマジョリティはどこにあるのか。今後の市長ならびに議会の動向にご注目ください。



◎島崎義司のブログ『活動日誌』 <http://blog.livedoor.jp/yoshiji3/> 開設!ほぼ毎日更新中!

☆島崎義司のホームページ <http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/> も好評更新中!

## ☆『市政報告会&懇親会』を開催します。

毎年恒例で開催している島崎義司の『市政報告会』を今年も下記により開催致します。お誘い合わせでのご参加をお待ちしております。

日時：2月 4日(土) 午後6時30分より  
場所：武蔵野スイングホール11階『レインボーサロン』  
〈JR武蔵境駅北口前/武蔵野市境2-14-1 / TEL0422-54-1313〉  
会費：3,000円

☆お問合せは〈TEL 0422-54-8180 島崎義司〉まで。

武蔵野市議会議員  
島崎 義司  
◇Profile(しまさきよしじ)

◎昭和41年2月10日武蔵野市境生まれ。(39歳)

◎武蔵野市立二小、六中、拓大一高をへて拓殖大学商学部を卒業。

◎衆議院議員の秘書を9年間勤めた後、実家の食肉卸・加工販売会社に勤務しながら(社)武蔵野青年会議所など地域活動に取組む。

◎平成11年4月市議会議員に初当選。(現在2期目)

現在、市議会文教委員長、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員、議会広報委員、文化事業団評議員、スポーツ振興事業団評議員、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員、国民健康保険運営協議会会長などを勤める。

◎家族は、妻、長女9才、長男6才

